

川口市長選挙 市長に岡村氏 4選

任期満了に伴う川口市長選挙は、5月17日の午前7時から、市内81カ所の投票所で投票が行われました。即日開票の結果、岡村 幸四郎 氏(56歳)が83,529票を獲得し当選しました。また、同日行われた川口市議会議員補欠選挙は、杉本 佳代 氏(45歳)が当選しました。

市長就任にあたって

川口市長
岡村 幸四郎



このたび、川口市長として4期目の市政を担当させていただくことになりました。これまで3期12年間にわたり、「人づくりなくして郷土(くに)づくりなし」「産業の振興なくして街の前進なし」を基本理念に、「人づくり」「産業(もの)づくり」「暮らしづくり」「まちづくり」「手づくり」の5つの視点に立って、市民のみなさんからお預かりした貴重な税金を、いかに無駄なく有効に活用し、市民のみなさんにお返しできるかを常に肝に銘じながら市政の運営に当たってきました。

これからも、さらなる行財政改革と市職員の意識改革を推進し、「最少の経費で最大の効果」をあ

げるよう、保健・福祉・医療をはじめ、教育、環境、都市基盤整備など山積する本市の諸課題に、誠心誠意取り組む所存です。

とりわけ、100年に1度と言われる現下の厳しい経済状況の中、市民生活の安定と市内中小企業の経営安定は、緊急かつ重要な課題であります。これからも迅速・的確に、さまざまな施策を実施していきたいと考えています。

今、時代のキーワードは、「市民参加」と「市民との協働」です。価値観やニーズが個別化・多様化した現代社会にあって、市民一人ひとりの「心の満足度」が得られるまちづくりがますます求められており、そのためには、市民のみなさんの知恵と熱いエネルギーを活かし、強固な相互信頼関係を築いていかなければならないと、痛感しています。

私は常々、「まちはみんなで作るもの」と申しあげています。市民のみなさんとのパートナーシップを大切にしながら分権時代のまちづくりを進め、市民の誰もが「住んで良かった、これからも住んでいたい」と実感できる、「ふるさと川口」の実現に向け、引き続き全力を尽くす決意であります。

川口市議会議員補欠選挙

杉本 佳代
自由民主党



赤山1191-5
会社役員

市長選挙候補者別得票数(敬称略)

候補者氏名	第1開票区	第2開票区	計
岡村幸四郎	43,399票	40,130票	83,529票
松本 安弘	14,129票	11,479票	25,608票
須田幾世志	6,397票	8,202票	14,599票
合計	63,925票	59,811票	123,736票

市長選挙投票者数および投票率

	当日の有権者数	投票者数	投票率
男	201,827人	62,316人	30.88%
女	193,097人	62,720人	32.48%
合計	394,924人	125,036人	31.66%



開票作業(川口総合高校第2体育館)